

謝罪文

甲野花子様

この度は、私が起こしてしまいました事件について、甲野花子様に変な苦痛を与えてしまったこと、心よりお詫び申し上げます。

今回の事件は、お酒を飲みすぎてしまったことが原因とはいえ、私がしてしまったことは許されない犯罪行為であり、自身の愚かな振る舞いを恥じ、今更ながらに深く反省しております。

この度の事件については、絶対に同じ過ちを繰り返さないよう、妻と話し合いをし、様々な方策を実行しております。具体的には、〇〇駅は利用せず、通勤経路と通勤時間を変更して、甲野花様に二度と近づくことが無いよう生活しています。また、妻とは普段連絡を取っていませんでしたが、今は移動の際には一言連絡をするようにし、どんな状況なのか伝えるようにしております。

甲野花子様に対する被害、傷つけてしまったお気持ちを回復することは難しいとは存じますが、少しでも慰藉になることがございましたら誠心誠意の対応をしていきたいと考えております。

今回、強制わいせつ事件により、ご迷惑をおかけした甲野花子様に対し、改めて謝罪を申し上げます。

本当に、申し訳ございませんでした。

令和元年5月15日

鈴木太郎 印